

市民福祉の向上へ諸施策を推進

平成10年度の決算が、9月定例市議会で承認されました。
 一般会計の決算は、歳入142億8400万6千円、歳出142億1645万9千円、歳入歳出差引額は6,754万7千円で、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は6,009万9千円、実質単年度収支は1億6,149万円の黒字となりました。
 また、財政健全化のバロメーターである経常収支比率(財政の弾力性を判断する指標)は、93.9%、公債費比率は、16.1%と、前年度と比べてそれぞれ1.2ポイント、0.7ポイント減少するなど、財政健全化に向けての改善の道筋ができてきました。

平成10年度 決算報告

市民1人当たりに使われたお金

73,634円 民生費

高齢者・身体障害者・児童の福祉増進、生活保護などに



37,741円 総務費

市役所の管理事務費、市民会館・コミセンの運営費、選挙などに



36,122円 公債費

長期の借入金である市債の返済にあてられます

32,052円 教育費

学校の管理・運営、校舎の維持管理、図書館などの運営に



31,372円 土木費

道路・公園などの整備管理などに



30,312円 衛生費

ごみの収集処理などに



12,751円 消防費

消防業務、救急業務などに



11,408円 その他

議会費、商工費、農林水産業費、諸支出金など

特別会計

国民健康保険事業

歳入 2,597,343千円
歳出 2,577,244千円

老人保健医療

歳入 3,610,343千円
歳出 3,610,341千円

下水道事業

歳入 2,740,214千円
歳出 2,725,711千円

大字寺戸財産区

歳入 2,983千円
歳出 2,627千円

物集女財産区

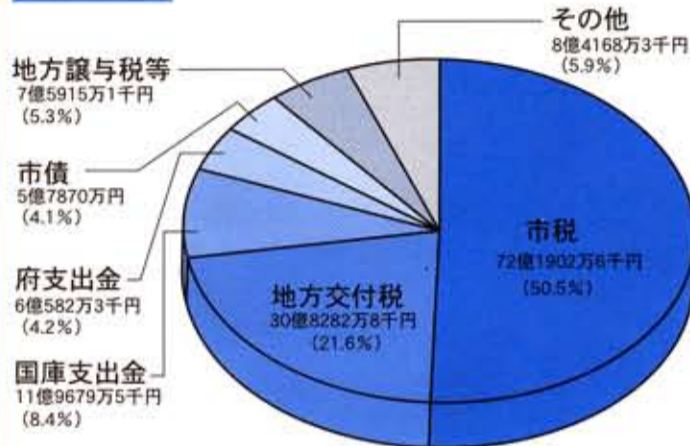
歳入 27,682千円
歳出 27,491千円

水道事業会計

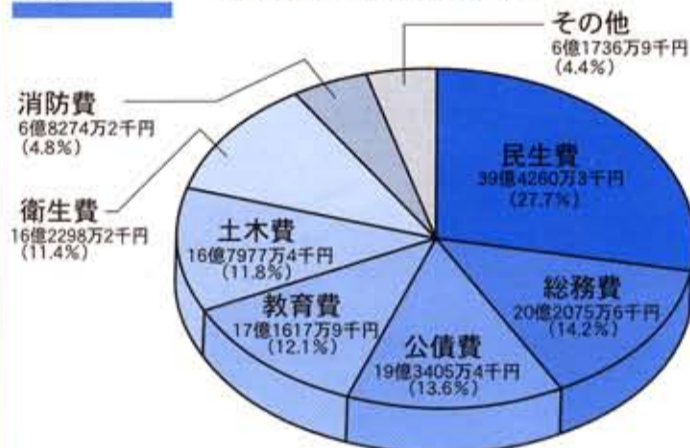
水道事業

歳入 2,089,285千円
歳出 2,323,021千円

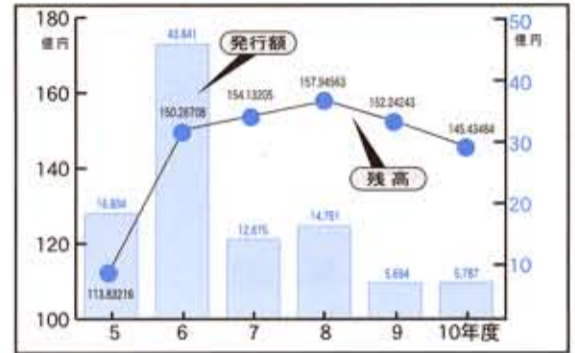
歳入 142億8400万6千円



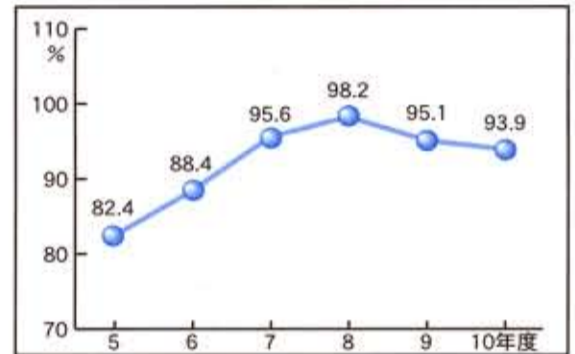
歳出 142億1645万9千円



市債残高と発行額の推移



経常収支比率



経常収支比率・財政構造の弾力性を判断するための指標として用いられるもので、この比率が高いほど建設事業など臨時の行政需要に充当できる財源が少ないことを表しています。都市においては、これが80%を超えると、その財政構造は弾力性を失いつつあるといわれています。

歳入 市債発行を抑制

決算額は、歳入総額で142億8400万6千円、前年度に比べ3億8688万6千円の増、率にして、2.8%の伸びとなりました。

市税では、72億1902万6千円となり、マイナス2.5%、1億8187万円の減となりました。これは、特に市民税で、法人市民税が景気低迷の影響を受け、3.6%の減となったことや、個人市民税で、減税が実施されたことなどにより、前年度に比べ9.7%の大幅な減となったことなどにより

地方譲与税は、消費譲与税の制度改正により、マイナス44%、78445万3千円減の9988万1千円となりました。

利子割交付金は、金利低下により、マイナス23.5%、3085万1千円減の1億15万6千円となり、地方消費税交付金は、平年度化により、4.3倍の4億5795万1千円の交付となりました。

地方交付税は、30億8282万8千円で、83%の伸び、2億3532万7千円の増となりました。国庫支出金は、11億9679万5千円で、21.5%の伸び、2億1209万円の増となりました。

歳出総額は、142億1645万9千円で、前年度に比べ3億8395万2千円の増率にして2.8%の伸びとなりました。

歳出面では、人件費をはじめ、扶助費や過年度に発行した市債の償還金や一部事務組合負担金などが増大し、逼迫した財政状況となりました。このため、財源の重点的・効果的な配分を行う中、市債発行額を抑制し、借入金依存度を引き下げるとともに、事業の総点検と見直しを行い、歳出全般にわたり、引き続き経費削減と一層効率的な執行に努めました。

主な事業は、いきいき健康ウォークの開催をはじめ、市民健康農園の開設や健康づくり器具の設置など、「市民みんなの笑顔が輝く健康都市」の実現を目指し、健康都市づくりを推進しました。

また、生活道路や公園などの生活周辺の整備をはじめ、小少川の河川改修、東御泥排水路改修など農業基盤の整備を行うとともに、久世北茶屋線第1工区の整備を完了しました。

また、雨水排除事業を推進したのをはじめ、耐震性防火水槽や災害備蓄倉庫を設置するとともに、災害備蓄物資の購入や緊急通報システムの整備、さらには、防災協力農地の確保など、市民の安全と災害に強いまちづくりを推進しました。

また、老人福祉センターリフレッシュ改修事業や第6保育所大規模改修に取り組みとともに、老人生きがい対策や在宅福祉などの老人福祉をはじめ、心身障害者、児童福祉等の向上に努めました。

さらに、西ノ岡中学校プールを取得したのをはじめ、第5向陽小学校にコンピュータ教室の設置や向陽・第2向陽小学校給食室の整備など教育環境の向上に努めるとともに、適応指導教室の設置やスクール・カウンセラーを配置し、いじめ問題等に対処しました。